


ファースト・コンタクト



ファースト・コンタクト(第一接触)は、インターアクティブ・オーディオビジュアル装

置である。1人でも、グループ(8人まで)でも同時に体験できる。

A sunset scene with a bright orange and yellow sky. In the foreground, there are dark silhouettes of a building and a large, bat-like creature hanging from wires. The creature has large, spread wings and a pointed snout. The overall mood is mysterious and dramatic.

うわさ...

うわさが広がっている。奇妙な生き物が夜に出ると。一体何だろう？どこから来たのか？この未知の生命体と出会うのはあなたがはじめて。あなたは どうやってコンタクトする？生物がどんな反応をするか？

空の光....

高い場所に6メートル以上の宇宙生命体が漂っている。蜘蛛なのか...タコなのか...何だろう。あなたが近づいてくるのを気づいている。8本の長い足が薄らと輝いている。それぞれの足先からは、細い紐が土に向かって出ている。あなたは手を伸ばして、引っ張ってみる。すると、足が輝き始める。色の波が足にわたって鼓動する。同時に生物は奇妙な音を発する。話そうとしているかもしれない。それとも歌っている？クジラの歌を思い出させる。



ユーザー体験

観客の上に浮いているこの光っている生命体は、絶大なスケール、美しさ、空想的な音が印象に残り、驚嘆させる出現である。中身の機械構造は観客から隠れている。他のオーディオビジュアル装置とは全く違う。これはテクノロジーの産物じゃなく、まるで彫刻のように感じられる物である。

観客がこの装置に触れると不思議なことが起こる。足先からぶら下がっているそれぞれの紐を引くとユニークな点灯パターンや映像が見れたり、面白い音を聞くことができる。この紐はただのオン・オフスイッチより巧妙なものである。紐がどこまで、そしてどんな強さで引っ張られることによって光と音のパターンが変わっていく。それぞれの足が実質的に音楽とライトショーの「楽器」である。なお、「楽器」として観ても聴いても楽しめる物となっているが、多くの楽器が同じメロディやリズムを共にし、一つの楽曲を作り上げるように、壮大な楽曲の一部としての役割も果たす事が出来る。それは、見知らぬ人がアンサンブルに紛れ込み、いつの間にか欠かすことのできない役目として認知されていくような魅惑的な自己組織化のプロセスである。必要のスキルは紐を引っ張ることなので、誰にでも簡単に参加することのできるインターアクティブグループ体験である。参加者がお互いに、そして周りの聴衆のためにユニークな音楽とライトショーを作り上げる。この作成プロセスを一度体験した人には、エンターテインメントの「コンシューマー」としての役割が参考になるのではないか。



創造者

ファースト・コンタクトは多くの専門分野にわたるアーティスト、フィリップ・メーヤ氏 (Philip Mayer, イギリス) が思い付いた国際的なアート・コラボレーションである。このプロジェクトはメーヤ氏とインターアクティブ・オーディオビジュアル・アーティスト、ペドロ・ザズ氏 (Pedro Zaz, ポルトガル) が彫刻家ドゥ・ゴンサルベス (Du Gonçaves, ブラジル) の協力で共同で創造した作品である。



info@first-contact.me
www.first-contact.me
www.gaianova.co.uk
www.showskills.com/pedrozaz
www.sagazcorp.com.br